



同窓会会報

発行
 福島成蹊高等学校
 同窓会
 福島市上浜町5-10
 電話 (522) 2049
 発行人 石井 都
 印刷所 (有)三共印刷所



「自 蹊 庵」

去年同様、卓球クラブの方々が卓球に明け暮れた学生時
 代を過ごしました。今年も昭和十四
 年度卒業、平成二十六年卒業
 の幅広い年齢層の方々が御運
 び下さいました。

アトラクションは、本校吹奏楽部の演奏を、顧問の摺出寺先生の指揮により楽しみました。「花燃ゆ」メインテーマ等々、アンコールでは校歌を演奏して下さいました。重厚な響きと歌詞に感激し、涙して歌っていた人達の中に私もいました。顧問の吉田先生、長南先生ありがとうございました。吹奏楽部の益々のご活躍を祈念しております。

懇親会では、退職された先生方の今も変わらぬ若々しさに目を見張り、現職の先生方のお話にも母校の今を知る事ができ有意義な一時を過ごしました。



世代を越えて

同窓会会長 石井 都

(昭和41年度卒)

代の話を楽しそうにしていたテンプルが一際目をひきました。又昭和五十五年卒業の方々が担任の長沢卓先生を囲み華やかな笑い声に包まれミニクラス会の様でした。平成二十六年卒業の新幹事や平成二十三年卒業の男性、学内同窓生の先生方のテンプルは新鮮そのものでした。皆様のご参加を心待ちにしております。

九月学校行事の桃李祭に同窓会室を開放しました。大正時代に卒業した祖母の名を名簿から見つけた方が「今ここに子供が通っている、これも婆ちゃんの導きかな」の言葉に桃李祭のテーマ「つながり絆」次の百年への想いをまさに感じた時でした。

皆様のご更なる御力添えをよろしく願います。

母校は「成蹊」と

言える誇り

同窓会総会に出席して



山田 直美

(昭和58年度卒)

夫の転勤で福島にもどりました。高校時代の友達に会いたいと思い同窓会に参加しました。先生方にお会いして高校時代にタイムスリップしたり、現在の学校の様子の発表があり、回を重ねるごとに異年代の交流をとっても貴重に感じるようになりました。



松本 光子

(昭和61年度卒)

この度、友人から、思いがけずにお誘いを受け、初めて参加させていただきました。校歌を久しぶりに歌い、すんなりと歌えた自分にびっくりでした。卒業して二十九年も経ちましたが、改めて、福島成蹊高等学校の歴史や重みを感じながら、久しぶりにお会いした恩師の変らぬお姿に嬉しい気持ちになり、とても貴重な時間を過ごさせて頂きました。これからも母校の発展と活躍に期待しております。



遠藤 ゆう子

(平成11年度卒)

成蹊高校の活躍を噂や新聞で拝見する度、私が在籍していた頃とまるで違う様子に正直「母校のような気がしない」と感じていました。今回、初めて同窓会に参加させていただき、諸先輩方との繋がりを感じ、伝統ある母校を改めて誇りに思いました。今後とも「桃李成蹊」の名の如く、学問のみならず心豊かな生徒の育成を願っております。

板橋 加奈

(平成26年度卒)

私は平成26年度に卒業し地元の見護学校に進学したため、今回の同窓会に出席させていただきました。歴代の先輩方と交流することができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。そこで出会った素敵な先輩方のように、福島成蹊の卒業生として、自信と誇りを持って自分の道を歩んでいきたいと強く思いました。母校は成蹊と言え誇りという言葉を胸に、これからは一生懸命頑張ります。

伊藤 彰真

(平成26年度卒)

私は同窓会に参加して福島成蹊高等学校の歴史の深さを改めて感じました。たくさん歴代の同窓生の先輩方がおり、自分もその同窓生になったことを実感し、次回も参加したいと思いました。そして様々な話を聞くことができ食事でも美味しいのでぜひこれからの卒業生、特に男子にも参加してほしいと思いました。





ご挨拶

理事長 高橋 幸七

昨年二月、学園創立百二年の歴史重ねた学校法人福島成蹊学園理事長を拝命し、二年目の年を迎えることが出来ました。

三年前の創立百周年記念の年から実施された十三に及ぶ各種記念事業・行事に対し、同窓会の皆様から絶大なるご協力を賜っておりますことを、この場をお借りし深く感謝申し上げます。

昨年六月には一大事業と

なった記念誌の刊行が成り、今年六月末を期限とする募金事業のみを残すに至りました。本事業に留まることなく、同窓会の皆様方のご支援、ご指導なくして、今後の学園運営全般の責任など果たし得ようがありません。

品格備えた「次なる桃李の人」の育成に向け、同窓会の皆様には更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

『時代と共に発展出来る同窓会に習い』

校長 本田 哲朗

同窓会の会員の皆様方には、常日頃、物心両面に渡るご支援を賜り、衷心から御礼を申し上げます。ご承知の様に、社会は少子高齢化・国際化の加速等に因って、急速に変わるとしています。その中で、教育現場で大切なのは、次代を担う生徒達に時流に抗う教育を行ってほらない事です。そう言う事で、本年は全学的に研修旅行先を海外に求めました。生徒には、台湾・カナダ・東南アジアと研修地域は異なりますが、同世代交流を通じ相互の文化に理解を深め、やがて世界平和に尽力する事を期待します。これまででも、時宜に合った変化をしてきた同窓会に習い、中・高共により質の高い教育の実践を行って参りますので何卒宜しくお願ひ申し上げます。

福島成蹊高等学校同窓会一般会計決算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

1. 収入金額 2,049,922 2. 支出金額 1,291,346 3. 差引金額 758,576

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	適用
会費	1,104,000	1,096,000	△8,000	4,000×274人
運営協力費	88,650	88,650	0	25年度協力費より
預金利子	500	183	△317	普通預金・定期預金利子
雑収入	200,000	373,100	173,100	総会会費等・名簿売上等
繰越金	491,989	491,989	0	前年度より繰入
合計	1,885,139	2,049,922	164,783	

支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	適用
事業費	600,000	473,141	△126,859	総会、研修会、桃李祭
会議費	100,000	17,868	△82,132	役員会、幹事会
会報発行費	200,000	194,400	△5,600	会報第20号
協力費	300,000	211,250	△88,750	全国大会祝金、卒業記念品等
交誼費	50,000	14,340	△35,660	慶弔費
通信費	100,000	54,470	△45,530	切手、名簿補助等
旅費	0	0	0	
事務費	200,000	125,877	△74,123	印刷費、事務用品等
特別積立費	200,000	200,000	0	
予備費	135,139	0	△135,139	
合計	1,885,139	1,291,346	△593,793	

特別積立金 (平成27年3月31日現在) 6,937,962円

運営協力費 (平成27年3月31日現在) 53,200円

上記帳簿及び関係書類について監査の結果正確であることを認めます
平成27年5月20日 会計監査 杉内 文子

会務報告

平成26年

4月10日	入学式出席
12日	定例役員会 会報第20号発送
5月11日	定例役員会 会計監査
6月14日	墓参(初代・4代校長) 定例役員会
15日	同窓会総会開催 (森和美「おばあちゃんの昔話」)
7月12日	定例役員会
9月13日	定例役員会
10月11日	定例役員会
11月8日	定例役員会
12月13日	定例役員会

平成27年

1月10日	定例役員会
30日	新幹事顔合わせ
2月14日	定例役員会
27日	同窓会入会式
3月1日	卒業式出席
3月14日	定例役員会

全面共学二期生の今

平成21年度卒



今野 秀胤

全面共学一年目、初代野球部員として高校生活を送った事は忘れられません。何もかもが初めてだらけでしたが多くの人に支えられ夏大会で一勝することができました。成蹊での三年間は人として成長できた三年間でした。卒業後は大学に進学し高校で得たことを活かし、勉強とサークル活動を両立させていました。現在は福島市内の病院に勤務していますが、学生時代に学んできたことだけでは仕事はできないということを感じています。学生時代に学ぶ事は社会においての基礎にしかすぎません。私から学生さんに言いたい事は基礎をしっかり学んで欲しいという事です。



村松 弘俊

現在、私は宮城県仙台市にある宮城野運輸区で仙石線の車掌をしています。仙石線は、東日本大震災の影響で甚大な被害がありました。震災から約4年後の平成27年5月30日に、東名駅と野蒜駅を高台移転する形で仙石線は全線開通しました。全線開通に併せ、新たに環境に優しいハイブリッド気動車を使用した東北本線に乗り入れる仙台東北ライオンも同日開通しました。仙石線は、復興への大切なライフラインとして地域のお客さまから注目、期待をされています。私の目標は新幹線の運転士になることです。そのために常日頃から「お客さまの命を預かっている」という使命感をもって業務に取り組んでいます。



近藤 友紀

私は現在、大学病院の外科病棟で看護師として働いています。手術や侵襲の大きな治療をする方が多く、忙しいながらも充実した日々を送っています。振り返ると高校生活では、勉強やクラブ活動だけではなくボランティアや検定試験などさまざまなことに挑戦しました。私が「やりたい」と相談すると先生方はいつでもサポートしてくださり、本当に恵まれた環境にいたのだなと思います。社会人になると何かに挑戦する機会が少なくなってしまうと思いますが、これからの目標を持つことを忘れずに頑張っていきたいです。



千葉 良彦

私の高校生活の一番の思い出は、生徒会活動です。生徒会活動では、生徒の皆さんがよりよい学校生活を送れるよう、様々な努力をしました。特に、共学一期生ということもあり、男子が積極的に行事に関わることができるようになりました。また、かねてからの要望であった部活動の再編にも取り組みました。この生徒会活動で学んだことは、現在の仕事に生かされている部分が多くあります。それらは、成蹊高校という素晴らしい環境の中で学ぶことができたからだと思います。後輩の皆さん、高校生活は大変だと思えますが、将来に結び付きます。是非頑張ってください。



花見 直樹

私は現在、福島市消防本部で勤務しており、災害現場での活動はもちろん、日々の訓練、また予防・救急業務といった幅広い分野に取り組んでいます。市民の皆さんからの消防行政に対する期待は大きく、「最後の砦」であると自覚しながら仕事に励んでいるところであります。今、このように消防士として働いているのも、高校生活の三年間が大きかったと思います。野球部に所属し、部活動に明け暮れた日々でしたが、そこで強い精神力と協調性を身に付けることができましたし、他にも多くのことを学びました。その経験を活かして、頼りにされる消防士を目指していきたいです。



畑中 千佳

私は現在、JA新ふくしまに勤務しています。今年から初めて共済窓口を担当することとなりました。今まで担当していた業務とは内容が全く違うので、上手くいかないこともありましたが、先輩方に教わりながら頑張っています。また、来店される組合員の皆様は年齢層も様々なので、高校生活で学んだ社会人としてのマナーは今でも大変役立つと思います。来年は合併も控えているので、高校で学んだことを生かし、地域の皆様、組合員の皆様の役に立てる職員を目指し、日々努力していきたいです。

キャンパスライフ



お茶の水大学文教育学部
佐々木 美理
(平成26年度卒)

大学に入学して半年がたちました。愉快的な友人や、頼もしいサークルの先輩方に囲まれて充実した生活を送っています。大学生活を振り返りサークルの合宿や友人たちと遊びに行ったりなど楽しい思い出は尽きませんが、一番楽しい時間と言われると、日々の友人と話しながら過ごすお昼休みです。日常の出来事も共有すれば楽しい話になり、時には刺激を受けます。成蹊で過ごした6年間で学んだことはかけがえなく今でも何かに悩んだ時支えになってくれています。



東北大学経済学部
穂積 理央
(平成26年度卒)

わたしは今、新しい友人にも恵まれ、充実した大学生活を送っています。しかし、振り返ってみると、去年の秋頃は思うような結果が出ないことに悩んでいた時期でした。投げ出したくなることもありましたが、3年間で培った諦めない心と何事にも積極的に取り組むチャレンジ精神で最後までやり通すことができました。その精神は今も活きており今夏も短期留学に参加し、多くの刺激を受けることができました。高校での経験を忘れずこれからも日々の学習に取り組みたいです。

クラス会

瓶子 恵理子
(平成4年度卒)

昨年9月26日、平成4年度に卒業した3年6組の同級会を開催しました。当日は担任の横山靖子先生、副担任の菅原信嬉先生にもお越しいただきました。卒業後何度かクラス会をしました。仕事、結婚、子育てなどそれぞれ忙しくなり、久しぶりの開催となりました。再会までどんなに時間があってもあつという間に高校生だったあの頃に帰り、思い出話に花が咲きおしゃべりに夢中で料理を食べるのを忘れてしまうくらいでした。今回参加できなかった人もいたのでこれからは定期的に集まれたらいいねと約束して散会しました。

河野 早紀
(平成25年度卒)

成蹊高校第八期生の同窓会が一月二日に開催されました。忙しい時期にもかかわらず、先生と卒業生合わせて五十一名が集まりました。私達八期生は福島成蹊学園創立百周年の年に居合わせた学年です。卒業してこのようにみんなで顔を合わせるのは初めてでした。みんな話していると、当時の様子が甦り、感慨深い気持ちになりました。忙しい中出席していただいた皆さん、本当にありがとうございました。



平成二十七年進路状況

進路指導部部長 増子 裕一

今年度の入試は十八歳人口が前年より二万人減少し、浪人生も新課程の影響などもあり減少している中での入試になっております。センター試験は、国語・英語・社会も新課程に移わり、五教科全科目が新課程に移行した入試となります。

二期期から本格的にスタートした推薦・AO入試では、一・二年次から計画的に取り組んできたことにより、三年生は好結果を得ております。国公立大学では現在、福島大学に六名が合格しており、会津大学、山形大学、宇都宮大学、茨城大学など十二月までに十四名もの合格者を輩出しています。これは現コース制になってからは最多の合格者数になっています。私立大学では、法政大学や成蹊大学に指定校推薦で合格し、東京理科大学二部に五名が合格しました。日本大学には二十名、東北学院大学には十名と現在二桁合格になっております。その他、短期大学・専門学校においても多数の合格者が出ています。就職試験においても、二年次からの取り組みの成果が出ており十二月中旬に二〇〇%全員内定となりました。特に数年ぶりに福島県職員に内定しました。今後は一般入試が本格化してきます。私立大学では大きく広がっているインターネット出願やグローバル化の影響、大学の学部学科変更など、入試の環境も年々大きく変わっています。その中でも本校生には桃李の精神の下で培った力を十分に発揮し、合格の二文字を掴み取ってくれると期待しています。

平成27年度 進路状況

平成28年2月13日現在 (一部の学校のみ記載)

国公立大	20名	福島県立医科大医学部、宇都宮大2名、茨城大3名、群馬大、山形大2名、福島大6名、会津大、山口東京理科大4名
文部科学省管轄外の大学校など	9名	防衛大学校9名
私立大学	289名	国際基督教大、明治大、法政大、青山学院大、中央大2名、東京理科大5名、成蹊大3名、成城大、日本大28名、東洋大2名、駒澤大、専修大2名、北里大、東京薬科大、東北医科薬科大2名、国際医療福祉大9名、芝浦工業大2名、武蔵野大10名、東北学院大18名、東北福祉大4名、神奈川大25名 ほか
短期大学	33名	創価女子短期大、桜の聖母短期大学19名、福島学院大学短期大学部6名、郡山女子大学短期大学部 ほか
看護医療専門学校	15名	大原看護専門学校3名、太田看護専門学校3名、福島看護専門学校4名 ほか
専門学校	32名	東北電子専門学校、郡山情報ビジネス公務員専門学校2名、国際ビューティーファッション専門学校2名 ほか
就職内定者	8名	福島県職員、(株)セルラー電話サービス福島、(株)ハシドラッグ、(株)ホテル聚楽飯坂 ほか

平成26年度 進路状況

(一部の学校のみ記載)

国公立大	50名	福島県立医科大医学部、お茶の水女子大、東北大3名、北海道大、電気通信大2名、埼玉大、新潟大2名、静岡大2名、富山大、岩手大、山形大、福島大16名、会津大4名、都留文科大2名、高崎経済大2名、群馬県立大、秋田県立大4名、青森公立大2名、釧路公立大、名桜大
文部科学省管轄外の大学校など	11名	防衛大学校8名、防衛医科大学校、航空保安大学校、海上保安大学校
私立大学	328名	慶應義塾大4名、上智大、国際基督教大、東京理科大3名、明治大5名、立教大3名、法政大10名、中央大12名、青山学院大3名、立命館大2名、成蹊大2名、成城大3名、明治学院大、東京女子大2名、獨協大2名、学習院女子大、日本大20名、東洋大3名、駒澤大3名、専修大4名、龍谷大、東京薬科大、武蔵野大12名、日本獣医生命科学大、国際医療福祉大11名、東北薬科大5名、東北学院大27名、東北福祉大7名 ほか
短期大学	23名	山形県立米沢女子短期大、福島学院大学短期大学部5名、桜の聖母短期大学7名、郡山女子大学短期大学部2名 ほか
看護医療専門学校	12名	大原看護専門学校2名、太田看護専門学校2名、福島看護専門学校3名、福島県立総合衛生学院 ほか
専門学校	40名	東北保健医療福祉専門学校、郡山情報ビジネス専門学校、国際ビューティーファッション専門学校3名 ほか
就職内定者	13名	警視庁、福島県警察官、(株)いちい、アイテック(株)、日立オートモティブシステム(株) ほか

在校生の活躍

クラブ活動等全体の活躍状況

特別活動部部长 鈴木 祥之

現在本校には、文化系・運動系を合わせて27のクラブが存在しています。普通コースのクラブ加入率は9割に迫り、兼部している生徒も数多くいます。運動系では多くのクラブが県大会・東北大会に駒を進めています。中でも水泳クラブと陸上競技クラブは、近畿インターネハイと第70回国民体育大会への出場を果たし、県全体の競技レベル向上に大きく貢献しています。3年生を中心に、1・2年生の選手も着実に実力を身に付けています。文化系では、ギタークラブが24年連続で全国大会に出場し、見事金賞を獲得しました。吹奏楽クラブも県大会で初の金賞を受賞し、その他のクラブも含めて大躍進を遂げています。桃李祭に於いても、各クラブの工夫を凝らした展示が来場者の耳目を引いていました。更に個人で出場した総合文化祭の女子将棋部門では、全国5位という素晴らしい成績も残しています。

クラブ紹介

JRC・IAC部

顧問 佐藤 敦子

私達JRC・IAC部では、多くのボランティア活動に参加してきました。JRCでは募金活動や被災地視察、大笹生養護学校など。IACでは猪苗代湖水草清掃や国際交流など。このようなボランティア活動を通して、人のために行動することの大切さやリーダーとして人をまとめる力を学んでこられたと思います。これからも、部員一人ひとりが地域に貢献できるように積極的にボランティア活動を行っていき、「気づき、考え、行動する」力を身につけられるよう頑張っていきたいと思っています。



猪苗代湖 水草清掃

ギタークラブ

顧問 吉田 清人

ギタークラブは今年度69名と大所帯になり、指揮者兼講師として羽田友彦先生を迎え日々練習に励んでいます。直近の活動は9月に桃李祭、定期演奏会、10月には全日本ギターコンクールに出場しました。生徒たちの頑張りが実り、4年ぶり2回目となる金賞を受賞しました。現在は新体制で動き出しています。恵まれた環境の中活動ができるのも、同窓会の皆様をはじめ、多くの方のご支援、ご理解の賜物です。心から感謝いたしますと共に、伝統を受け継ぎ、より良いものを目指し精進して参ります。



金賞 2015 All Japan Guitar Concours
2015年10月12日 江戸川区総合文化センター 大ホール

男子バスケットボール部

顧問 高津 淳

9年前に、たった6人の1年生で始まった部も、今では37名が切磋琢磨する大所帯となっています。また、強豪校が薙めき合う県北地区予選を突破するまで3年半かかりましたが、各大会で県北地区予選を突破し、県大会出場を果たすまでの力がついてきています。次のステップとしては、これまでの最高成績「県大会ベスト8」の更新です。これは簡単に成し遂げられる目標ではありませんが、これまで通り全員が一丸となり『不断前進』をモットーにチャレンジし続けていきます。これまでの50名を超える男子バスケットOBと在籍中の37名で現在構築中である『土台』をより強固なものとし、これからの新入部員とも力を合わせて『成蹊城』を築き上げていければ最高だと考えます。あたたかいご声援と、ご指導をいただければ幸いです。



テニス部

顧問 吉田 秀一

我々テニス部は、男子23名、女子8名の合計31名で活動しています。硬式テニス経験者はいませんが、県大会で毎年ベスト8に進出しています。ここからの1勝を上げることがチームの悲願です。未経験者の集団でも、目指すはもちらんってっぺんです。多くの方々の援助を頂き、日々目標に向かって努力し続けます。どうぞ、応援をお願いします。



校歌

作詞 坂内 萬
作曲 古関 裕而

わが学び舎の
名もゆかし
桃李の花の
匂へれば
ものいはねども
慕ひくる
かげやこみちと
なりぬべき

金剛石の
みさとしに
阿武隈川の
よどみなく
進みゆく世に
遅れじと
いそしむ技の
楽しさよ





十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	新 幹 事
組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	
木大野日鈴末野菊幕平坂紺横齋齊阿但本佐佐	村竹木部木永地田田田下野山藤藤美野田藤	梨優果 円壮健英 瑞薫 瑞彩み新晴哲里雄	紗明林匠華大太里響希乃湧樹美り郎香也咲郎							

同窓会室が 移動しました

今まで同窓会室として使用していた部屋が、昨年資料展示室に、生まれ変わりました。
大正二年の開校から現在までの貴重な資料の数々、制服等々展示してあります。
同窓会室は、資料展示室の斜前に、移りました。

事務局だより

会報22号は昭和39・49・59・平成7・12・17・26年度卒業の皆様へ送付いたします。今後も卒業年度を追って順次送付する予定です。皆様にご協力いただきました運営協力費は会報送付等に使用させていただきます。引き続きご協力をお願いします。
また、クラス会開催の際は、名簿を事務局に提出して下さい。通信費として二千円を補助いたします。

南校舎建設募金状況について

南校舎建設募金に対しましては、皆様方から多大なるご寄付を戴き感謝申し上げます。平成25年2月から募金活動が開始されました。現在までの中間報告をいたします。
なお、平成28年6月まで行っております。引き続きご協力よろしくお願ひします。

募金額実績(平成27年11月25日現在)
募金目標額 五、〇〇〇万円
募金実績 四、二二八万円
同窓会目標額 五〇〇万円
同窓会実績 四九六万円
同窓会募金件数(二二三件)

平成28年度 総会のお知らせ

- 日 時 / 平成28年6月12日(日) 午前10時30分～
- 場 所 / ホテル福島グリーンパレス
- 内 容 / 総会 懇親会(アトラクション: ギター部)
- 会 費 / 4,000円
- 問合わせ先 / 福島成蹊高等学校
同窓会事務局 TEL 024-522-2049



～ この場を利用してミニクラス会等を開いてみませんか? ～

編集後記

今回の表紙は、中学校敷地内の茶室「自蹊庵」です。見開きは、全面共学一期生の今、キャンパスライフ、クラス会の様子を載せました。いかがだったでしょうか。
今後とも皆様に読んで頂ける会報作りをしていきます。皆様方のご意見等もお寄せ下さい。よろしくお願ひ致します。

◆退職される先生方◆

教諭 佐藤 敦子
教諭 菅野 亨
教諭 吉田 絵美